

東京聖栄大学 後援会会報

編集発行
東京聖栄大学
後援会

◆令和最初の『聖栄葛飾祭』開催!!◆

東京聖栄大学が開学して今年で十五回目を迎えます。新元号「令和」と共に『聖栄葛飾祭』(学園祭)を十一月九日(土)十日(日)の二日間において開催します。メインタイトルは、「新時代〜食と健康で未来に笑顔を繋ごう〜」と題し、学友会(学生組織)が中心となり企画全体の管理・運営を行い、クラスや

部・同好会等の団体と連携を図り準備を進めております。学友会の特別企画として、毎年恒例の「学友会レストラン」「もちつきイベント」「サンデークッキング」「お笑いライブ」「バザー」「クイズラリー」等の企画を行う予定です。また、今年度の目玉企画のひとつに学友会顧問(健康栄



イラスト: 管理栄養学科3年 永井 栄

養学部長)と学友会が連携し「本格的タイ料理を作ろう!」を企画しておりますので、ご来校の際は是非ご参加ください。その他、学科毎に特別企画をご用意しておりますので、学生の普段の「学び」について、この機会に体験してみたい。今後とも本学の教育研究活動にご理解・ご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

会長挨拶

後援会会長 野田 哲三



日頃より会員の皆様には後援会活動にご理解とご協力を頂きありがとうございます。

新役員一同、協力し合って本年度の活動を進めてまいります。

さて、今年も三月に学びと経験を積まれた十一期生の皆さんが巣立っていかれました。それぞれが生きていくとしてその持ち場で活躍されることを期待します。また四月には十五期生を迎えました。希望に胸を膨らませた新入生の皆さんにとって東京聖栄大学は高校の延長のようなアットホームな雰囲気の中で楽しく勉学に励まれているのではないのでしょうか。

保護者にとりましても本学を理解し学生の学業の状況や学生生活について知ることは大切なことです。後援会では大学と協力して毎年秋に保護者会を開催し、大学の状況を説明頂き担任の先生から個別の面談もお願いしております。その後は教職員各位との情報交換会を持ち、それぞれ親しい会話を楽しみます。その他にも学生のための教育環境の整備、就職活動や資格取得への支援および学友会活動への協力などを通じて大学として学生を応援します。よろしく

総会・役員会報告

●三月役員会報告

三月二日(土)に役員会全体会が開催されました。先ず、平成三十年度事業報告同決算報告並びに会計監査報告があり、慎重審議の結果同報告は承認されました。引き続き、平成三十一年度事業計画案同予算案を審議、夫々承認されました。さらに、進級する役員の方の三十一年度留任並びに会長・副会長・会計・会計監査候補者が決定されました。

●総会

四月一日(月)の大学入学式当日、本学わたなべ記念館において、ご父母(保護者)多数の出席を得て総会が開催されました。初めに、昨年度の事業報告同決算報告並びに会計監査報告があり、異議なく承認され、続いて、本年度事業計画案、同予算案が承認されました。

引き続き役員選出が行われ、進級した役員の方の留任及び新入生保護者の新役員候補者の紹介がなされ、満場一致で承認されました。続いて、新会長には野田哲三氏が再任されました。併せて副会長、会計、会計監査の選任が夫々なされました。なお、総会での決定事項は本学ホームページに掲載しています。

●六月役員会報告

六月十五日(土)に葛飾区堀

切菖蒲園「静観亭」において、役員会全体会が学長等大学関係者も出席し、開催されました。始めに十月と来年三月発行予定の後援会会報の発行計画案が夫々承認され、併せて、保護者会・懇親会は、十月十二日(土)開催と決定しました。続いて両学科より大学からの報告がなされました。

引き続き、役員懇親研修会が行われ、葛飾区産業観光部観光課主査学芸員の谷口榮氏による「堀切の花菖蒲を(歴史的に)愛でる」と題する講演が行われました。

参加者は、役員会・懇親研修会前後に、小雨が降る中見頃を迎えた園内の花菖蒲を楽しみました。

保護者会予告

今年度の後援会・大学共催による保護者会を十月十二日(土)に開催することとなりました。

保護者の皆様には、ご子息、ご息女の大学での様子、就職の展望等の報告について学年担任との懇談を予定しておりますので、ぜひご出席いただき、本学の教育内容について一層のご理解を深めていただきたいと存じます。保護者会終了後は、後援会主催による教員との情報交換の場として、学部長を始め学長や学年担任、教科担当教員との懇親会(希望者のみ)を予定しております。保護者の皆様のご参加をお待ちしております。

管理栄養学科

地域に貢献

管理栄養学科長 宮内 眞弓



管理栄養学科の取り組みの大きな柱である葛飾区地域連携事業である「かつしか知っ得メモ」について朝日新聞(7/24)に、「かつしかの元気食堂推進事業」については広報かつしか(No1775)に取り上げられました。「知っ得メモ」ではテーマ選び、情報収集、わかりやすい文章で作成する。「元気食堂」ではテーマ(お弁当メニュー)にあわせた献立を考え、何度も試作を繰り返し納得した作品を作る。三年次生全員が一丸となり取り組んだことへの評価が取材されました。

管理栄養学科の学修について報告いたします。四年次生は国家試験に向け頑張っており、学修として四年間の総仕上げのつもりで学修支援をしています。学生は不安や焦りを感じている時期ですので、ご家庭では



お子様の精神的な支えとなっていただけだと思います。三年次生は臨地実習を終え一回り成長した「子供」から「社会人」を感じていることと思います。今後の病院・福祉施設の臨地実習は患者さんや利用者さんへの配慮を必要とする実習となります。食生活を見直し、思いやりの気持ちをもって臨んでいただきたい。そして一、二年次生は大学生活を楽しんでください。遊ぶことではなく悩みを相談できる友人を作る、自分を見つめる力、人を理解する力、いろいろな人とコミュニケーションをとるなど「自分を磨く」ための時間とと思います。管理栄養士は「人」が対象となる学びです。人とのかわり方を自ら学び楽しむことが大切です。

学友会活動報告

学友会会長挨拶



管理栄養学科 3年次生 二階堂紗月

今年度、学友会会長に就任致しました管理栄養学科の二階堂紗月です。

今年度も学友会総会、新入生歓迎会、体育祭を無事に終えることができました。学生の大学生活がさらに充実し、さらに活動しやすくなるよう精進致しますので後援会の皆様のご支援をよろしくお願い致します。

●学友会総会、部・同好会説明会
四月九日(火)に「学友会総会、部・同好会説明会」が開催されました。新役員の選出、承認や平成三十年度決算報告及び今年

度予算案等の審議を行い、承認されました。また、各団体の活動紹介が行われ、新入生や在学生の学生団体の理解が深まりました。

●新入生歓迎会

四月十六日(火)に「新入生歓迎会」が開催されました。菓子文化研究家の原亜樹子先生による「アメリカの食を通して考える食文化」について公演を戴きました。原先生がアメリカでの体験談に、お菓子のエピソードを交えてお話しされました。また、参加者全員に執筆された本を教材として提供していただき、とても充実した内容となりました。その後は、新入生・在学生対象に、抽選会を行い、学生間での学年や他学科との繋がりを深める良い機会となりました。

●体育祭

五月二十五日(土)に本学船橋

グラウンドにおいて体育祭を開催しました。今年度は気温の上昇が予想されたことから、熱中症対策などの安全面を考え短縮したプログラムで行われました。短い時間ではありましたが、学生が一丸となってプログラムを実施し、予定通りに終了させることができました。今年の総合優勝に輝いたクラスはINBクラス(一年次生管理栄養学科クラス)でした。全員元気に一日を終えることができ、学生同士や教職員との親交を深める機会となりました。



体育祭 表彰式

令和元年度学友会役員一覧

役職名	学年クラス	氏名
会長	3NB 二階堂	月 紗
副会長	3NA 内田	凜 海
	2NA 小野	亜 拓
	3NA 川元	拓 郎
総務	3FB 山本	代 夏
	2NA 小川	彩 利
	2NB 波多	道 悠
	3NA 大道	花 綾
	3NB 田代	稀 子
会計	3FA 久須美	勇 日
	2FA 石田	瑞 生
	2NA 楠田	山 美
会計監査	3NA 大新	緒 南
体育祭実行委員長	3NB 西村	泰 斗
体育祭実行副委員長	3FA 木原	村 聖
	2NB 原井	上 亮
	2FA 井上	友 理
	2FA 秋山	麗 菜
大学祭実行委員長	3NA 高野	加 純
大学祭実行副委員長	3NB 渡邊	隆 佳
	3FB 志摩	優 莉
	2FA 池島	菜 々
	2NA 遠藤	佑 夏
委員	3FB 中村	帆 花
責任者	2FB 宮川	大 澄
	3FA 岩清水	清 力
部・同好会責任者	3FB 山田	史 香
	2NA 犬塚	千 聖
	2NA 高島	島 恭

食品学科

社会ニーズに則した食品

食品学科長 北村 義明



昨年六月に食品衛生法が改正され、食品に関わる全ての事業者にはHACCP（ハサップ）と呼ばれる高度な食品衛生管理への取り組みが義務づけられました。食品衛生に関する危害要因を分析して、科学的な根拠に基づいて、それが起こらないように管理する手法です。これには、その食品そのものや食中毒微生物などの特性を十分理解して、臨機応変に対処できる科学的知識が必要となります。食品学科が養成を目指す「食品全般に関する科学的な知識と技術等を身につけた食の専門家」は、まさにこのHACCPに必要とされる人材であり、社会に即した人材育成であると考えます。

さて、食品学科の学生諸子の現状ですが、一年次生は前期が終わり、高校での学びと異なった学習の工夫が必要であることを実感したと思います。この経

験を糧に、自ら進んで学習することの重要性を認識して今後

生かしていただければと考えま

す。二年次生は、Fs・Fbコースに分かれて、専門的な授業が増えてきましたので、学習意欲も高まって来ていると思います。

また、就職対策の授業も始まり、卒業後に社会人となることに向けての自覚も芽生え始めているのではないのでしょうか。三年次生は研究室配属・ゼミ参加を通して、先輩が卒研や就活に取り組み姿に接し、また、職場体験のインターンシップを経験して、自らの卒研のテーマや卒業後の進路について本格的に考える時期となってきました。四年次生は、就職活動もひと段落ついて多くの学生が内定をいただき、卒研に本腰を入れ始めた時期です。大学で何を学んだかを自ら誇れるような、充実した内容の卒研にできることを願います。また、卒研を履修していない学生も、残りの学生生活を四年間の集大成として、充実した時間とすることを期待いたします。

後援会の皆様も、今後とも学生諸子の頑張りを、我々教員とともにご支援いただけるようお願い申し上げます。

学生支援センター

(学生支援・就職支援)

就職・学生マナー講座

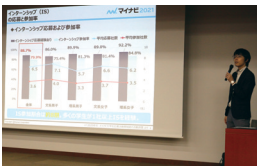
履歷書エントリーシート対策講座(三年次生)

五月九日(木) 外部講師を招いて三年次生を対象に履歷書・エントリーシート対策講座を実施しました。履歷書・エントリーシートを書く上での注意点等の説明・解説があり、それらを踏まえて実際に履歷書作成に取り組みました。作成した履歷書は専門業者により添削され各自に返却しました。就職活動において履歷書作成は重要事項のひとつであり、本講座で学んだことを活かし就職活動の準備を進めて欲しいです。



インターンシップ対策講座(三年次生)

六月一日のサマーインターンシップのサイトのオープンを皮切りに、三年次生の就職活動準備が本格化するため、六月六日(木)に三年次生を対象とし、インターンシップ対策講座を実施しました。三



年次生には、積極的に業界研究や企業研究を行い自身の就職活動に役立ててほしいと思います。

就職活動のための筆記対策講座(三年次生)

五月〜六月に三年次生を主対象とし、五回×二回、計十回に渡り、就職活動における筆記試験対策の講座を実施しました。筆記試験合格を目指すことを目的に言語問題(文章読解など)と非言語問題(計算問題など)の学力向上トレーニングを専門業者講師により行いました。筆記試験に解答できる力を身に付けるため、多くの学生が参加しました。



マナー講座(一年次生)

六月二十日(木)、新入生を対象としたマナー講座を実施しました。本学が取り組んでいる「マナー向上運動」の一環で、座学のみでなく実技を交えた講座となり参加者は楽しみながら受講していただきました。第一印象の重要性や挨拶のポイント等をロールプレイングを通じて学び、ワークを通じて敬語の基礎力等を身につけました。



就職支援

本学四年次生の内定状況(八月三十一日現在)は、七八・七%でした。売り手市場の中、企業の動きは年々早まっています。

学生支援センターでは今後就職未内定者に対し、継続して個別に就職支援を行っていきます。

就職未内定者は積極的に学生支援センターを利用し、諦めずに就職活動を継続してほしいです。後援会の皆様におかれましても学生のサポートをお願い致します。

学生支援センターでは、学生一人ひとりに寄り添った就職支援を行っています。個別相談では、エントリーシートの添削や面接練習など、希望の進路を実現できるようなキメ細かな指導を行います。多様化する就職採用活動に対応すべく、学生支援センターでは、就職活動が本格化する以前の一・二年次生対象に就職専門業者によるキャリアガイダンスや三・四年次生対象に学内業界説明会など多数の就職関連イベントを実施予定です。

積極的にこれらのイベントに参加し、最新情報を収集して自身の就職活動に活かしてほしいです。

就職支援にあたり、関係者の皆様のご協力をお願いします。

